

公共セクターで初めて「E S G経営支援ローン」を成約

名古屋高速道路公社（本社：名古屋市北区、理事長：新開輝夫、以下当公社という。）は、株式会社三菱UFJ銀行（頭取：三毛兼承）が実施する「E S G経営支援ローン」を公共セクターで初めて活用し、シンジケートローン契約を3月19日に締結いたしました。

「E S G経営支援ローン」は三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社がE S G（環境・社会・ガバナンス）に関する独自のチェック項目に基づき、E S Gに対する取り組みを評価、スコアリングを付与し、評価結果が一定以上の企業が利用できるE S G評価型の融資商品となります。

今回、当公社が評価を受けた点は、主に次のとおりです。

○環境保全への取り組みとして、 道路照明L E D化の推進などを実施



L E D化が完了した東山トンネルの様子

○交通安全対策の継続的な実施



カーブ区間などの事故多発区間を中心に、
カラー舗装を始めとする交通安全対策を実施
（東片端JCT 北カーブの例）

○地域社会との共生への積極的な取り組み



広報資料センター「ネックス・プラザ」
における小学生の総合学習の様子

当公社は、今後とも、交通安全、環境保全など都市交通の課題解決に努めていくとともに、積極的な地域貢献を通じて、地域社会と共生し、末永く愛される名古屋高速を目指していきます。